

4. 定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組

(1) 体系図

分野	項目	事業名
1 生活機能の強化に係る政策分野		
医療	地域医療の維持・充実	① 医療体制の維持及び医療人材の確保事業
福祉	子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実	② 支援対象児童等見守り強化事業
		③ 介護人材確保に向けた普及啓発事業
		④ 地域密着型サービス等の適正化に関する共同処理事業
防災	災害に強いまちづくりの推進	⑮ 災害発生時における被災者支援
産業振興	農林水産業の振興	⑤ 有害鳥獣被害防止技術向上事業
	商工業の振興	⑥ 中小企業支援事業
	観光の振興	⑦ データに基づく戦略的観光プロモーション
環境	自然環境の保全・循環型社会の構築	⑧ 地球温暖化防止対策事業
教育	教育の振興	⑨ 生涯学習活動振興連携事業
		⑩ 社会体育施設連携事業
		⑪ 学校の魅力向上推進事業
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		
交通	交通ネットワーク等の維持・整備	⑫ 南房総・館山地域公共交通活性化推進事業
移住・定住・交流	地域内外の住民との交流・移住定住の促進	⑬ 移住定住・就業促進事業
		⑭ ふるさと納税共通返礼品の企画・開発とPR
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		
圏域マネジメント能力の強化	圏域の人材及び職員の育成並びに民間専門人材の活用	⑮ 職員の資質等向上事業
		⑯ 外部専門人材活用事業
		圏域マネジメントの能力の強化に係る取組

(2) 具体的な取組

1 生活機能の強化に係る政策分野

<現状と課題>

人口減少、超高齢化社会が加速する中では、子育て・医療・介護・福祉分野の充実は重要な課題です。安房地域の医療福祉体制は全国的にも恵まれており、地域の就業の場としても重要な位置づけとなっていますが、看護職や介護職などの担い手不足は深刻で、全国的な人材の奪い合いとなっており、人材確保に向けた支援の強化がより一層重要となっています。

商工業の活性化については、商工会議所や商工会等の関係団体との連携が重要であり、互いに協力して起業・創業の促進や雇用の創出等を図る取組が必要です。

また、本圏域は温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、新鮮な海産物や豊かな大地で育まれた多様な農産物、加えて、戦国大名里見氏ゆかりの史跡や寺社、首都東京防衛の歴史を物語る戦争遺跡、さらには、温泉や魅力のある海を活かしたスポーツ観光等に至るまで多種多様な観光資源、歴史文化遺産を有しています。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、観光客数・宿泊客数とも激減し、圏域内の観光産業は大きな打撃を受けましたが、今後は、感染症の世界的な動向を見据え、観光地としての安全性を確保しつつ、国内観光客・外国人観光客への積極的な情報発信を行い、関心を向けてもらう必要があります。

重要業績評価指標（K P I）の一覧

指標名	現状値	目標値
事業を通じた起業者数 (中小企業支援)	—	25件
観光入込客数 (観光プロモーション)	4,391千人	7,490千人
宿泊客数 (観光プロモーション)	591千人	1,020千人

※重要業績評価指数（K P I）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

医 療

地域医療の維持・充実

- 【取組の内容】 圏域の医療体制の維持・充実を図るため、救急医療事業等を支援する。また、看護師等の医療人材の育成・確保のための必要な取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、地域医療体制の維持・充実に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、地域医療体制の維持・充実に必要な事業及び支援を行う。

事業名	① 医療体制の維持及び医療人材の確保事業					区分	新規
事業概要	小児科医や看護師等の医療人材が不足する中、圏域内の医療体制の維持、充実を図るため、安房医師会と連携し、医療人材の育成・確保を進めるとともに、周産期及び小児科の医療体制など、地域医療の調査・研究に取り組む。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	圏域内の医療機関の機能強化が図られるとともに、圏域内で将来を担う子ども達が健康に暮らせる環境整備が図られる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	館山市が中心となり、圏域内の医療体制の維持・充実に向けて必要な取組を実施し、南房総市はそのサポートを行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

福祉

子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実

【取組の内容】 官民連携により、保護者の子育てと就労の両立が図れる、子育てしやすい環境づくりを推進する。また、子どもの出生数の増に向けた取組を行う。

多様な障害者のニーズに対応した取組を行う。

高齢者福祉に必要な介護人材の確保や高齢者等の移動困難者支援などの取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実に必要な事業及び支援を行う。

事業名	② 支援対象児童等見守り強化事業	区分	新規
事業概要	要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じて子供の見守りを行う。 ＜実施事業＞ ・児童の状況把握 ・食事の提供（子ども食堂、配食サービス） ・学習支援・生活面の助言指導 など		
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	＜目的＞ 児童の見守り体制を強化することを通して迅速で柔軟な支援につなげる。 ・児童の養育状況の把握の機会を増やす ・養育者の養育相談の機会を増やす ・児童と養育者がともにかかわる状況を把握する機会を増やす ・官民連携型の支援活動を充実させる ・24時間対応できる相談体制を整備する ＜効果＞ ・孤立又は孤立傾向にある児童の養育状況を対面で把握でき、また、継続的な支援活動につなげられる ・教育相談センターで取扱っている児童支援と連携したケースワークが可能となる ・虐待の早期認知、予防的支援が高められる		

実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	
						
役割分担の考え方	圏域内で同一の支援が享受できるよう、それぞれ同一条件で実施者（民間）へ委託する。					
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額
	10,169	16,295	18,866	19,446	19,446	84,222

事業名	③ 介護人材確保に向けた普及啓発事業					区分	新規
事業概要	介護に関する入門的研修の合同開催 介護の仕事の魅力発信・普及啓発 ・ 中学・高校等への出前講座の実施 ・ 市役所や商業施設等での介護現場のパネル展示 ・ 介護事業者主体の啓発事業への支援・連携活動						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	介護人材のすそ野の拡大、介護分野への多様な人材の参入促進						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	共同で企画し、事務処理・調整は館山市が主に担い、運用にあたっては館山市・南房総市役割分担の上、実施する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	100	100	100	300	

事業名	④ 地域密着型サービス等の適正化に関する共同処理事業					区分	新規
事業概要	地域密着型サービスの相互利用に関する協定締結 事業所指導や給付適正化に関する共同研究・共同実施						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	事務の効率化及び利用者・事業者の利便性向上						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	共同で研究し、状況が整い次第協定締結・共同実施 事務処理・調整は館山市が主に担い、運用にあたっては館山市・南房総市役割分担の上、実施する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

防 災

災害に強いまちづくりの推進

【取組の内容】 激甚化しつつある自然災害に対し、圏域市民等の被害を最小限にとどめる取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、激甚化しつつある自然災害に対し必要な取組を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、激甚化しつつある自然災害に対し必要な取組を行う。

事業名	⑱ 災害発生時における被災者生活再建支援					区分	新規
事業概要	災害発生時において被災者支援を迅速かつ的確に実施するため、被災者支援システムを導入する千葉県と連携し、被災者支援システムを導入・運用するほか、被災者の生活再建支援を2市が連携して行う。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	災害発生時において被災者生活再建支援を迅速かつ的確に実施することができる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
							
役割分担の考え方	相互に協力し、共同で被災者支援にあたる。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
				2,000	2,010	4,010	

産業振興

農林水産業の振興

【取組の内容】 圏域内の特色ある農林水産業の活性化に資する必要な取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域における農林水産業振興に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域における農林水産業振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑤ 有害鳥獣被害防止技術向上事業					区分	新規
事業概要	農作物に大きな被害を及ぼし、両市において農業振興の障害となっている有害鳥獣の被害防止対策について、捕獲、防御及び環境整備の面で両市及び両市の有害鳥獣対策協議会で連携して講習会等を開催し、被害防止技術の向上を図る。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	・ 被害防止対策の促進及び農業被害の減少 ・ 両市における被害防止対策の情報共有						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	事業の企画、各関係機関との日程及び会場の調整等を共同で行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	132	400	200	200	932	

産業振興

商工業の振興

- 【取組の内容】 圏域内の商工業の活性化を図るため、商工会議所、商工会等の関係団体との連携により、賑わいの創出、雇用促進、事業承継等のための取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、起業・創業支援、雇用促進等、商工業の振興に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、起業・創業支援、雇用促進等、商工業の振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑥ 中小企業支援事業					区分	新規
事業概要	市内中小企業、個人事業主を支援するため、新商品開発、販路拡大、起業支援等を一括してアドバイスできる総合窓口を開設する。 各関係機関の専門員や、地元の起業者等を相談員として招き、市内中小企業の課題や悩み等に対しアドバイスを行う。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	市内中小企業全般の支援を行うことができ、総合相談窓口として、市内中小企業経営者の拠り所となる。 商工会議所及び商工会の経営指導員が、一緒に相談内容を聞くことにより、経営指導員のレベルアップにも繋がる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	館山市：各関係機関との日程及び会場の調整 南房総市：会場の調整						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	1, 200	0	22, 600	1, 200	1, 200	26, 200	

産業振興

観光の振興

- 【取組の内容】 圏域内の自然・歴史・文化、産業等の地域資源を活かした広域観光を推進し、来訪者や交流人口を拡大するため、圏域の魅力の向上や圏域内外への情報発信等に必要な取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、来訪者や交流人口の拡大のために必要な取組を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、来訪者や交流人口の拡大のために必要な取組を行う。

事業名	⑦ データに基づく戦略的観光プロモーション					区分	新規
事業概要	両市の観光協会が共同で実施する次の事業に補助金を交付する。 ①研究・リサーチ、②情報発信、③ブランディング、④観光コンテンツ造成、⑤顧客管理等推進、⑥プロモーション、⑦イベントの実施（(例)道の駅を活用した「海」・「花」・「食」をテーマとする「食の祭典」） ＜実施スケジュール＞ ①～⑥：毎年度（⑥について、初年度は温泉等の現段階で共有できるコンテンツ、次年度以降は①から⑤の結果により実施） ⑦：R6・7年度						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	従来は各市・各施設でデータを保有していたが、圏域全体のリサーチによるデータ収集を行い、観光客ニーズに応じた観光商品の開発及びイベント等を実施することで、ターゲットを絞った効果的な観光プロモーション戦略が図られる。また、顧客の確保により、リピーター数の向上が図られる。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	各市観光協会の支援						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	12,426	17,944	19,950	12,500	8,500	71,320	

環 境

自然環境の保全・循環型社会の構築

【取組の内容】 圏域内の豊かな自然環境を守っていくため、環境保全、循環型社会の構築のための取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の環境保全等に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の環境保全等に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑧ 地球温暖化防止対策事業					区分	新規
事業概要	脱炭素へ向けた取組を推進するため、ゼロカーボンシティ宣言を表明した両市で連携し普及啓発を行うほか、グリーンカーボンやブルーカーボンなど海や山に囲まれた両市の地域性を活かした取組を進める。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	同じ経済圏にある両市において共通の情報発信を幅広く行うことにより、両市民に脱炭素への意識向上など効果的な普及啓発が図れる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	館山市が中心となり、南房総市と共に脱炭素社会の実現に向けた取組を実施する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	650	768	1,000	1,000	3,418	

教育

教育の振興

【取組の内容】 圏域の児童生徒一人ひとりの成長を支え可能性を伸ばすために、児童生徒が学びやすい環境づくりを推進する。

児童生徒を取り巻く問題に対応する機関の充実を図るとともに、対応する教職員の資質能力の向上を図る。

圏域の歴史・文化・自然等について、一層の理解を深めるため、生涯学習活動の振興・連携を図るとともに、スポーツの振興に努める。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域の教育の振興に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域の教育の振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑨ 生涯学習活動振興連携事業					区分	新規
事業概要	国から史跡指定を受けた里見氏城跡・稲村城跡（館山市）・岡本城跡（南房総市）について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	史跡が持つ価値を住民に広く周知し、市民の財産である史跡として適切に保存することを目指す。 図書館資料の相互利用を行うことにより、住民の利便性や学習意欲の向上を図る。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	ポスターを作成する場合は、両市で協議し、館山市が発注し、両市で掲示を行うほか、HPについては、両市が相互リンクをする。 両市で資料の相互予約や貸し出しを行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

事業名	⑩ 社会体育施設連携事業					区分	新規
事業概要	2市の社会体育施設の相互利用を促進することにより、利用者の利便性向上及び施設利用の合理化を図る。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	両市の施設共有により、施設（重複施設など）の合理化が図れる。 利用状況共有により、混雑時の平準化が図れる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
							
役割分担の考え方	条例規則等に基づく施設運用及び施設利用状況等について情報共有を行い、今後の合同作業部会において、連携した場合の懸案などの洗い出しを行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

事業名	⑪ 学校の魅力向上推進事業					区分	新規
事業概要	圏域内に位置する学校との連携を強化し、「地域内外から選ばれる学校」になるための環境整備を働きかける。 ・高校の学区を超えた受験を可能とする規制緩和を目指す。 ・高校の入学者の確保に向け、遠方の志願者が入学後に滞在できる寮等の下宿先の確保を目指す。 ・中高一貫校の設立の可能性を検討する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	・圏域内の学校の定員が確保され、高校の存続につながる。 ・圏域内の子ども達が地域外に出ることなく、地域の中で学べる環境が整う。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	館山市が中心となって意見交換会等を実施し、南房総市はそのサポートを行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

<現状と課題>

本圏域では、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の状態が長期にわたり継続しています。その傾向は、高齢化の進行とともに強まっており、圏域の人口減少の大きな要因になっています。

また、進学や就職等による若年層の流出が多く、結婚・出産適齢期の人口が減少することにより、出生数の減少につながっています。さらに、転入・転出の状況を見ても、転入者数が転出者数を下回る「社会減」の傾向が見られます。人口減少を抑制し、まちの活力を維持するためにも、転出者数を抑え、転入者数を増やす取組が大変重要です。特に、若い世代の本圏域への移住・定住を促進する必要があります。

本圏域の公共交通網は、鉄道・路線バス・高速バス・タクシーから成り立っています。高速バスについては、東京都心等へのアクセス性の向上などを背景に、路線・運行本数とも充実していますが、鉄道と路線バスについては、人口減少・少子高齢化などの影響により利用者が減少し、路線・運行本数の維持が厳しい状況になっています。持続可能でより利便性の高い公共交通網を実現し、市街地の回遊性向上、公共交通空白地域の解消、観光利用の促進などを目指すため、総合的・計画的な視点で取り組むことが求められています。

重要業績評価指標（K P I）の一覧

指標名	現状値	目標値
公共交通利用者数 (南房総・館山地域公共交通活性化推進)	3 4 7 千人 (圏域内バス路線の年間利用者数) 2 6 5 千人 (地域間幹線系統バスの年間利用者数) 2, 9 5 5 人/日 (1日当たりの鉄道駅(有人駅)利用者数) 9 1 3 千人 (高速バス年間利用者数)	各項目現状維持
移動困難者の割合 (南房総・館山地域公共交通活性化推進)	1 1 %	5 . 0 %未満
事業を通じた移住者数 (移住定住・就業促進)	6 8 人	3 5 0 人 (5か年累計)
共通の返礼品数 (ふるさと納税)	4 品	2 0 品 (5か年累計)

※重要業績評価指標（KPI）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

※「公共交通利用者数」、「移動困難者の割合」については、『南房総・館山地域公共交通計画』で示した値を記載しており、現状値は平成30年度、目標値は令和7年度の値です。

交通

交通ネットワーク等の維持・整備

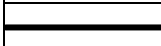
- 【取組の内容】 圏域内の交通ネットワークを維持・整備し、通学、通院、通勤等の交通手段を確保するため、交通事業者その他の関係機関と連携して、バス、鉄道等の公共交通の充実に向けた取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の交通ネットワーク等の維持・整備に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の交通ネットワーク等の維持・整備に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑫ 南房総・館山地域公共交通活性化推進事業					区分	新規
事業概要	生活圏をともにする2市において、公共交通ネットワークの維持確保・利便性向上に係る取組を推進するため、「2市にまたがる幹線系統の維持」「公共交通空白地対策」「館山市街地の回遊性向上」「新たな交通システムの検討」「観光二次交通の充実」等を軸とした事業を展開する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	2市市民の暮らしやすさ向上、観光客や来訪者の回遊性向上を図り、「車が無くても気軽にお出かけできるまち」の実現を目指す。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	「南房総・館山地域公共交通活性化協議会」を軸に2市合同で事業展開を図る。各市固有の案件はそれぞれで検討し事業を実施する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	35,749	23,593	18,684	45,200	45,200	168,426	

移住・定住・交流

地域内外の住民との交流・移住定住の促進

- 【取組の内容】 圏域内の人口減少に歯止めをかけるため、圏域内への移住定住の促進、圏域内外との交流人口及びふるさと納税等による関係人口の拡大に向けた取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、移住定住の促進、交流人口及び関係人口の拡大に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、移住定住の促進、交流人口及び関係人口の拡大に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑬ 移住定住・就業促進事業					区分	新規
事業概要	両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク（推進体制）を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。 また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	情報の一元化、相談窓口のワンストップ化及びノウハウの蓄積により、相談者の負担や手間を軽減し、効率的・効果的な相談が可能となる。 圏域としてより広範なニーズに対応できるようになる。 圏域の魅力を一体的に発信することができ、情報発信力の強化に繋がる。 各地域の魅力を活かし、デメリットを補完することで、効果的な移住提案が可能となる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	館山市は、NPO法人おせっ会やNPO法人南房総農育プロジェクト等と連携を図り、両市への移住希望者や空き家バンク情報及び新規就農に関する情報を取りまとめ、各種事業の調整や対応を行うとともに、必要に応じて関係機関等に繋いでいく。 南房総市も、館山市との情報一元化及びワンストップ窓口機能の構築に向けて、現行体制を効率化し、当該ワンストップ窓口へのスムーズな移行を図る。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	4,500	6,500	6,500	6,500	6,500	30,500	

事業名	⑭ ふるさと納税共通返礼品の企画・開発と P R					区分	新規
事業概要	現在、「共通のふるさと納税返礼品に関する自治体間連携協定」に基づき両市ですすめている、共通のふるさと納税返礼品の企画・開発、P Rの取組を実施する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	各市の地場産品を共通の返礼品として取り扱うことにより、それぞれの地域資源や魅力を一体として発信し、両市の地場産業の振興を図る。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	企画・開発は共同で行い、寄附金の受領に伴う事務、返礼品提供事業者との契約、ポータルサイトへの掲載、返礼品の調達は各市が責任をもって行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

<現状と課題>

行政に対する住民ニーズは多様化・高度化しており、自治体職員には的確な対応が求められています。このため、自治体職員の執務に必要な基本的な知識・技術の習得により、行政課題に対して積極的に対応できる職員を養成していくことは重要です。

また、行政の効率化や、住民サービスの向上のためにも、ICT（情報通信技術）の活用や国・事業者が提供するビッグデータ※の活用、圏域で保有する統計等のオープンデータ化により、データに立脚した取組を進めていく必要があります。

※ビッグデータ：従来のデータベース管理システムなどでは処理困難であった巨大で複雑なデータ群。単に大容量だけでなく、非定型的でリアルタイム性の高いデータが多い。

重要業績評価指標（KPI）の一覧

指標名	現状値	目標値
参与の助言を受けた連携事業数 (外部専門人材活用)	—	10事業 (年間2事業)
LOGOフォーム※活用数 (情報化推進)	2	20

※LOGOフォーム：自治体職員が電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用の「デジタル化総合プラットフォーム」。

※重要業績評価指標（KPI）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

圏域マネジメント能力の強化

圏域の人材及び職員の育成並びに民間専門人材の活用

【取組の内容】 圏域のマネジメント能力の強化に向け、外部専門家の活用等を行う。

また、圏域市民の協働の促進、職員の資質向上等を図るための取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、企画及び運営を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、企画及び運営を行う。

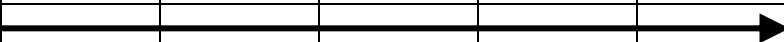
事業名	⑮ 職員の資質等向上事業					区分	新規
事業概要	①外部専門家による研修の合同実施 ②両市職員間の情報交換等の活性化						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	職員の資質向上。 同一職種、同一業務担当者との交流を深めることにより、事務の効率化や職場内で相談ができない（またはできにくい）職員（特に専門職や一人職場など）の精神的な安定が図られる効果が期待できる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
							
役割分担の考え方	① 合同研修：研修内容等を館山市が取りまとめ、講師派遣等の契約を行う。 ② 職員間の情報交換等：随時柔軟に対応する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	0	294	386	386	1,066	

事業名	⑩ 外部専門人材活用事業					区分	新規
事業概要	館山市・南房総市の魅力向上・魅力発信のアドバイザーとして参与を委嘱し、地域全体の活性化と魅力向上を推進する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	館山市・南房総市の魅力発信、地域力・ブランド力の向上について助言をいただくことにより、シティプロモーション分野をより効果的に展開していく。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
							
役割分担の考え方	参与の委嘱や窓口等は館山市が担い、定住自立圏で取り組む連携事業に対し、両市が助言を必要とする際は、館山市を通じて相談する。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	935	935	600	0	0	2,470	

圏域マネジメント能力の強化

圏域マネジメントの能力の強化に係る取組

- 【取組の内容】 効率的な行政システム構築に向け、先進技術の導入や事務の共同処理化に努め、圏域市民の利便性向上と業務の効率化を図る。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域市民の利便性向上と業務の効率化のために必要な取組を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域市民の利便性の向上と業務の効率化のために必要な取組を行う。

事業名	⑪ 情報化推進（業務効率化）事業					区分	新規
事業概要	業務のデジタル化を推進するため、A I ・ R P A ・ マイナンバーカードを活用したシステムの共同利用や経費削減等の情報共有・検討を行い、「業務改善・業務効率化」「住民サービスの向上」につなげる。 データの利活用や施設の予約システムなどの共同利用を推進する。						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	業務のデジタル化を推進し、情報共有、システムの共同利用、オフィスファイルの共同作成・相互利用等を行うことで、「業務改善・業務効率化」「経費削減」「住民サービスの向上」が図れる。						
実施スケジュール	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度		
役割分担の考え方	業務の課題やシステム導入の検討について、両市で検討し、館山市が取りまとめを行い、共同利用できるものについては、館山市が主となり契約を行う。						
総事業費（千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計額	
	0	1,142	1,308	1,202	1,202	4,854	